様式３(2020.06改)

作成日　令和　3 年　3 月　17日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100051
事業所名	グループホームえがおⅡ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板を通じて地域情報を収集している。散歩時や施設周辺の掃除の際には近隣の人と挨拶を交わし交流している。ボランティアの受け入れや子供会、中学校の職場体験等は今年度はコロナ禍で中止しているが、状況が明ければ再開する予定である。毎月第四日曜日にホームで実施しているえがおカフェは地域ボランティアと協働して運営し、地域交流活動に努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議は年6回開催し、いきいき支援センター職員、自治会長、利用者、家族が参加し交流を深めている。会議では事業報告、行事や日常の様子を写真で伝え、運営の実情を伝えている。意見箱からの意見を議題に挙げたりコロナ感染対策での情報交換、消防職員によるAED講習会を実施する等、ホームが中心となり地域貢献活動に尽力している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区介護保険課、市･指定指導センターとは、電話やメールで問い合わせや相談を行い、協働関係を築いている。いきいき支援センターとは入居の相談を受けたり、えがおカフェ運営で協力関係ができている。研修の情報がFAXや郵送物で届き、必要に応じて研修を受けている。今年度はオンラインで予防感染勉強会に参加した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱を設置し、意見や要望は推進会議で話し合いサービス改善に努めている。毎月えがお新聞を作成し、日常の様子やイベント時の写真に加え個人向けコメントを寄せ、利用者の生活ぶりを詳細に伝え信頼関係を深めている。服薬についてや機能訓練、介護計画については家族の意見を招集して反映させている。えがおカフェや推進会議で家族との交流を深める機会も作っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			×	×	○	○	○	○	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										